

令和6年3月31日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す 住 み よ い げん き な みどり さと おお くさ の
元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

「未来にかがやけほたるっ子！」3月15日(金)第77回卒業式

薄いブルーに澄み渡った弥生の空のもと、大草野小学校の第77回卒業証書授与式が挙行されました。体育館の中は“しん”として肌寒さと、これから始まる式の緊張感や高揚感が混交しています。先生や在校生、そして卒業生の保護者の皆さんもいつになく神妙な面持ちです。卒業生が入場してきました、保護者の皆さんは一瞬にしてカメラマンに変身です。体育館内に充ちた歓迎の拍手で、館内は一気に暖かさに包まれました。

校長先生の式辞の中で印象に残ったのは、「人前で自分の気持ちをしっかりと伝えることができるようになること」というところです。私もそう思います。とても大切なことです。つまり、それはコミュニケーション



能力が向上すれば、自分のことを相手に十分理解してもらえることになり、多くの人との交流が可能になることだからです。校長先生は、式辞の途中でグランドピアノに向かい、演奏を披露して、夢多き卒業生たちへはなむけをされました。(校長先生、カッコつけすぎ！！でも、自分の得意とすることで相手に気持ちを伝えるという、一つのお手本を自ら示してもらったのだと思います。)

いつも口にされる自己肯定感と自己有用感のことに再度話しをされつつ、「皆さんの未来に幸あれと願って式辞とします。」と締めくくられました。

そのあと、在校生代表の5年生代表達が、御礼の言葉を述べ、そして、卒業生が6年間の数々の思い出を振り返りながらたくさんの感謝の言葉を全員で述べて、次のステージへ向かう決意を示してくれました。

ふと、先生方の方へ目をやると、教頭先生や川島先生が泣いているではありませんか！何回経験しても卒業式には泣かされるんですね、その姿を見て、こちらの涙腺もつい緩ん

でしまいました。保護者の皆さんは、まだまだこれから先が一層の頑張りどころです、ファイト！

卒業生の皆さん、式のときの感謝の気持ちを忘れないでください！ ご卒業おめでとうございます！！



「長崎街道ひとい歩きガイドマップ」を市へを寄贈！ (3月19日：火)

19日は、第1回定例会の最終日でしたので、午後から市長を訪問して、ガイドマップを寄贈しました。全部で2000冊を作成しましたが、そのうち市長部局へ300冊、教育委員会へ100冊、議会事務局など



へ20冊、大草野小学校100冊、ほか全部で530冊を贈りました。NHKやケーブルテレビ局などの報道関係者も入って賑やかな贈呈式でした。

校区内は各世帯へ配布しましたが、皆さんはこのガイドマップについてどういふ感想を持っていただいたでしょうか？前年度に作成した「大草野お宝48」の中では表現することができなかった長崎街道を分かりやすく表現する事業に取り組む機会を得られてコミュニティの役員会では大変良かったと思っています。

「大草野お宝48」も「長崎街道ひと

い歩きガイドマップ」のどちらとも、皆さんに活用していただいてその価値がさらに高まるものだと思います。

趣味の仲間や三夜待、区や班での行事に色々なアイデアを出して行事を行っていただければとても嬉しく思います。

この2つの本が、大根やニンジンのように、多くの料理に使われる便利で美味しい食材のような存在であってくれたらいいなと思います。これからも、コミュニティでは校区内にあるお宝を大切に伝え残す事業に取り組んでいきたいと思っています。皆さんからの色々なご意見をお待ちしています。



コミュニティの代議員の皆様へ 令和5年度総会のお知らせ

日時：令和6年4月21日(日) 10時から
場所：大草野研修センター 2階 大広間

(代議員の皆様には後日個別にご案内をいたします。よろしくお願いたします。)

へへ編集後記▽
『一芸に秀でたかった!』

「光陰矢の如し」事務局四年目が過ぎようとしています。役員の方々と話すのは、校区全体にもう少し広がりのある事業に取り組めたらいいな、ということですね。これまでにない視点で、多くの人が関わられる行事や事業ができるようになったらいいと思います。子どもの頃、母親から「あんたはたいがいなんでもしいゆづばてん」とびぬけたとのなか、器用貧乏にしかならんばいね」と言われてきました。その頃は腹の中では歯痒かったりしましたが、今では、親は観察力が鋭かった、よく見ていたな、と感心しています。

「今からの世の中は、人に負けん」とば一つでも持つとる者がよかとばい!」とも言っていました。現状の自分を見て、返す言葉もありません。

卒業式の式辞の中で校長先生も言っていました。得意な何かがあることで、そこを起点に色んなものに好奇心を持ち、試行錯誤へと繋がっていくます。「博士ちゃん」というテレビ番組が好きで見えています。まさにそんな子ばかりで、いつのまにか大人に負けない会話力まで身に付いています。

子ども達には、好きなことを早く見つけてその道をまっしぐらに進んで、とことん一芸に秀でて欲しい、と願っています。私も「器用」はいいのですが、「貧乏」はなんとか返上したい。